

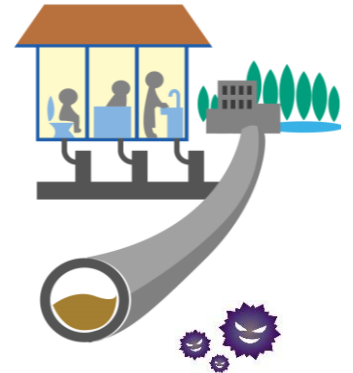
# 流入下水中ウイルス遺伝子の高感度精製法の導入と 呼吸器系ウイルス遺伝子濃度推移の把握

研究期間：令和5年度～令和6年度

宮城県保健環境センター 微生物部

## 背景

感染症の流行を早期探知する指標の一つとして、  
下水中のウイルス遺伝子を検出する方法がある。  
新型コロナウイルス感染症の流行を把握する手法として、  
世界各国で研究が急速に発展している。



## 目的

新型コロナウイルスを始めとする呼吸器系ウイルスについて、  
高感度な方法で、流入下水から経時的にウイルス遺伝子を検出



患者発生動向と比較し、流行実態を解明  
呼吸器感染症を早期に探知し、注意喚起することでまん延防止に役立つ

## 内容

- 調査対象：呼吸器系ウイルス  
(新型コロナウイルス、インフルエンザウイルス、RSウイルスなど)
- 方法：流入下水のウイルス遺伝子濃度を確認（週1回）  
患者発生動向と原因ウイルス遺伝子濃度を比較

